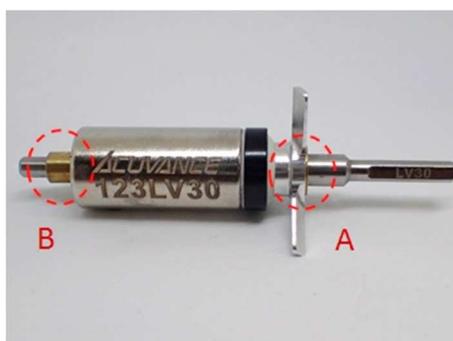


# 【LUXON AGILE】ロータシャフトの軸方向クリアランスについて

～ モータ性能を長くお楽しみいただけるよう、交換用 AGILE 専用パイプ型シムを発売いたします ～

## 【軸方向クリアランスの重要性】

LUXON AGILE は、ロータ軸のピニオンギア側にワッシャー型シム（下図 A）、エンドベル側にパイプ型シム（下図 B）をはめ込み、軸方向のクリアランスを調整しています。



軸方向のクリアランスは走行性能とモータ保護の面で大変重要で、ロータの製造過程で生じるコンマ数ミリの僅かな個体差レベルでも影響があります。



シャフトの軸方向に 0.3～0.5mm 程度のクリアランスがあることが重要

## 【弊社ではモータ 1 台ごとにクリアランスを微調整】

弊社では、この僅かな製造誤差分を補正するため、厚みの異なるいくつかのワッシャー型シム（A）を用意し、モータ 1 台 1 台全てのクリアランスを微調整しています。

クリアランスは大きくても小さくても問題が生じるため、ロータ交換作業をおこなわれる際、ワッシャー型シム（A）は必ず元々ロータに取り付けられているものを使用してください。

尚、AGILE 専用ロータを複数所有され、元々取り付けられていたワッシャー型シム（A）がわからなくなった場合は、軸方向のクリアランスが 0.3～0.5mm 程度になるシムを使用してください。（パイプ型シムは全て同一サイズです）

## 【使用するうちに徐々にロータ軸のクリアランスが大きくなる場合は要注意！】

「ギヤが擦り減りピニオンギヤとスパーギヤの噛み合わせが悪い（垂直になっていない）」、「フロント側のシムに別のモータのシムを詰め込んでしまいクリアランスがほとんどない」といった状態はロータ軸のエンドベル方向に無理なストレスを加え、この状態で走行を続けるとエンド側のパイプ型シム（B）が摩耗し擦り減る場合があります。

パイプ型シムが擦り減ることでロータのクリアランスが極端に大きくなりすぎると、「ロータのマグネット部分がセンサ素子に接触する」、「センサ信号を正常に発信することができない」等の不具合が生じることがあるため、ロータ軸のクリアランスが大きくなったと感じられる場合は、パイプ型シム（B）の交換をお勧めいたします。

## 【シムの交換方法】

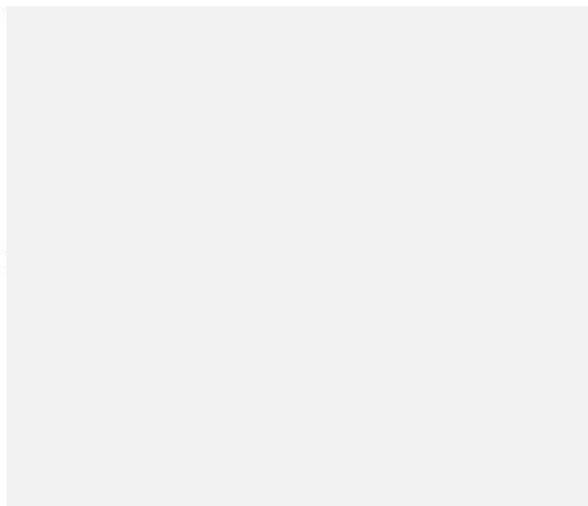
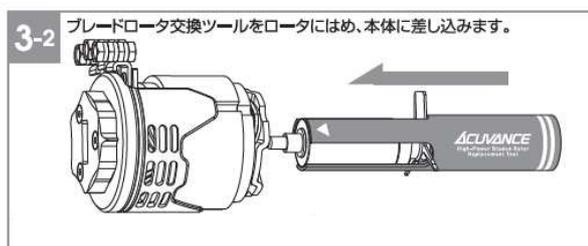
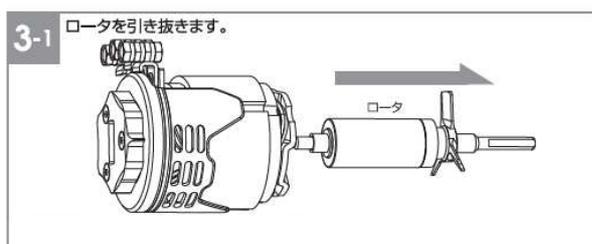
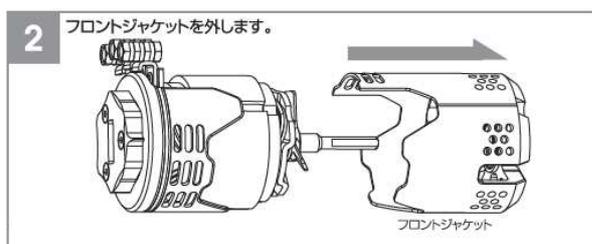
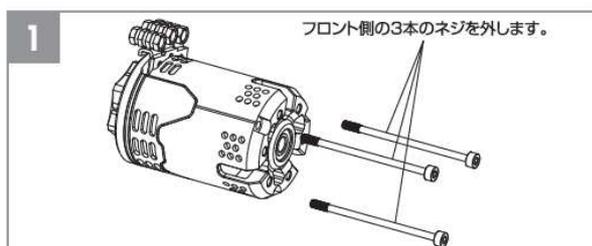
シムを交換する際は、ロータ交換時同様、モータを分解していただく必要があります。

以下の手順でおこなってください。（シムの交換は下記の工程 3-1 でおこないます）

※3-2 にありますように、弊社オプションパーツのブレードロータ交換ツール（OP-15056 / ¥2,000+税）をお使いいただくと、スムーズな交換作業が可能です。

### ルキシオン アジャイルの分解手順

組み立ては逆の手順で行なってください。



## 【パイプ型シムのご購入方法】

パイプ型シムは下記方法にて弊社より直接販売させていただきますので、是非ご利用ください。

### 【パイプ型シムのご購入方法】

必要なシムの個数×200 円（1 個あたりの部品代）+100 円（送料）分の郵便切手と、お送り先および「AGILE 用パイプ型シム×〇〇個 購入希望」とご明記いただいたメモ用紙を同封の上、下記まで郵送してください。

（例）パイプ型シムを 2 個ご購入の場合

2 個×200 円+送料 100 円 = 500 円（税込）分の郵便切手をお送りください

郵便切手を受領次第、部品を発送いたします。